

地元活性化探究プロジェクト

～Explore our local community and ourselves～

Vol.22に引き続き、SDGs交流会 with 地域人材+教員の振り返りを掲載します。今回は、開発目標 6、7、13、14、15（環境分野）を取り上げます。

グループ① ファシリテーター 斎藤 幸菜さん

課題

水の生態系の保護・豊かさ

情報

現在、生物が住めなくなるくらい川が汚染されている状態



絶滅危惧種の増加

整理・分析

生物が住めない＝川が汚い → 生物が住める水に改善する

私たちにできること

- ・川のごみ拾い
- ・地域に出て、水の大切さを伝える
- ・清掃ボランティア
- ・ごみの量を意識的に減らす

6 安全な水とトイレ
を世界中に



グループ② ファシリテーター 菅沼 友菜さん

課題

不衛生な水を減らす

情報

- ・世界では 3 人に 1 人がきれいな水を使うことなく生活している。こういった地域では死亡率が高くなっている。今後 5 人に 1 人がきれいな水を使えなくなるかもしれない。
- ・日本ではきれいな水が当たり前
- ・その反面、水の無駄使いが問題に。農業廃水、生活排水が多い

今後の取り組み

- ・節水
- ・ごみのポイ捨てをしない
- ・生活排水を減らす(台所からでる、皿洗いや食べ残しなどに気を付ける)

6 安全な水とトイレ
を世界中に



グループ① ファシリテーター 松原 虎之羽さん

課題

日本は世界でエネルギー消費量が 4 位



化石燃料を使用するため、地球温暖化の原因に→クリーンエネルギー

情報

現在の中津川では

- ・太陽光パネル設置のため森林伐採が進んでいる
- ・製紙工場で多くの電力エネルギーを使用

私たちにできること

- ・中津川市全体の電力消費量を減らすには私たち個人レベルで意識的に減らす努力をする
- ・森林伐採をなくすため、住宅に太陽光パネルを設置
- ・1人1人がエネルギー問題に関心をもつこと

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



グループ② ファシリテーター 山下 凜さん

課題

- ・クリーンエネルギーを広める
- ・電気の無駄を日常から削減
- ・国内の火力発電の減少
- ・国内の電力自給率を上げる

情報の収集・分析

・世界の消費電力のうち約5%は日本で使われている(インドとほぼ同じ)

⇒電力消費大国



つけっぱなしの照明、冷暖房などの比率が高くなっていると考えられる



まとめ 身近なところから改善する

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



グループ① ファシリテーター 渡辺 航生さん
機構変動、地球温暖化の加害者は人間である
→ 自分の行動次第で変わる

具体策

- ・グリーンカーテンや植林など二酸化炭素削減
- ・火力発電に頼りすぎず、再生可能エネルギー
- ・節水、節電で資源を大切に

経済と環境を考えた持続可能な開発

13 気候変動に
具体的な対策を



13 気候変動に
具体的な対策を



グループ② ファシリテーター 橋本 大斉さん

課題

地球温暖化の原因を知り、1人1人ができることをする

具体的政策

地球温暖化の原因は人である。人が車を使ったり、エアコンを使ったりなどして生活すると温室効果ガスが発生

↓

エアコン設定を1度あげたり、シャワーの時間を1分短くする。また近距離だったら車を使わずに歩く。このような1人1人の草の根的な努力が必要

しかし、ものづくりで大量の二酸化炭素を放出する大企業にも削減努力をする取り組みが必要。

13 気候変動に
具体的な対策を



グループ① ファシリテーター 布谷 明日香さん

課題

海洋汚染

漁獲量の減少

情報・分析

プラスチックが海に流れている→魚が食べる→人が食べられない
(年間 800 万トンほどが海洋へ)

2050 年には魚の量より多くなる予想

魚を食べる人が多いが獲り過ぎている

まとめ

- ・川から海へ流れつく→川や町にごみを捨てない、プラスチック製品の使用を控える
- ・生活排水などの汚染→汚染につながるものを流さない
- ・魚→養殖、漁獲量をコントロール

14 海の豊かさを
守ろう



グループ② 岩村 春輝さん

課題

- ・プラスチックごみによる海洋汚染
- ・魚の乱獲

情報

- ・プラスチックごみの 8 割は陸からの流入、分解できない、もしくは時間がかかる
- ・50年前の49%の量の生き物しかいない
- ・適正漁業量から見ると33%オーバー
- ・MSC エコラベル→普及していない(60%の人が知らない)

まとめ

- 海のない地域だからこそ強い意識を！！
- ・プラスチックごみの分別
- ・エコバッグの積極的使用
- ・買う段階からごみのでない商品を選ぶ
- ・MSC ラベルの付いた商品を買うこと意識する

14 海の豊かさを
守ろう



グループ① ファシリテーター 野田 倅嵩さん

課題

森の減少

情報

ソーラーパネルが増え、木が減っている

ごみの増量

森林に関わる働き手不足

地域の専門家からのアドバイス

情報をみて話し合うのも大切だが、もっと自然と自分達との距離を縮めることが重要。まずは、まわりの自然と触れ合ってみて！

まとめ

まず、身近にある自然について知り、ふれあう

15 陸の豊かさも
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



グループ② ファシリテーター 内田 耕太郎さん

課題

森林減少

林業関係者の減少

情報・分析

1時間で東京ドーム127個分の森林が減少→土地の開発を慎重に

森林火災>伐採→徹底的に原因を調べる必要あり

林業に関心がない→山、川に関するイベントの開催

まとめ

FSC 承認マークのついた木材を使う

募金活動に参加、協力

森林ボランティアに参加し、実際に体験する

15 陸の豊かさも
守ろう

